



創立148年

# 石積っ子

教育目標 **さいごまでやりぬく子 からだをきかえる子 もとめて学ぶ子 ひとを大切にす子**

坂本小だより 令和5年1月号

児童数539名

1/10

坂本小HP <http://www.otsu.ed.jp/skmt/>

【校長 上島 憲一】



## 『あけまして おめでとうございます』

### ～一年の計は元旦にあり～

古くは中国に由来する表現で『一日の計は朝にあり 一年の計は春にあり 一生の計は勤にあり 一家の計は身にあり』とある「四計」がもとになっているといわれることわざで、今年のことは年の初めの元旦に目標を定めて決意を新たにすべき。物事は初めが肝心で、新年の過ごし方がその年を左右するからしっかりと

とした計画のもと着実に行えということです。

3学期、そして新年のスタートでもあるこの大きな節目の日の始業式で、子ども達には皆が目標に向かって努力できる日々を過ごし、決意新たに行動し、自分自身を豊かに高め、より良い集団を目指していけますようにとの思いを込めて以下の話をしました。

### 『大切な節目に自分の目標を伝え合おう』

竹の節が大切なように、我々にとっても大きな節目である新年の初めは大切です。一度立ち止まって、自分の向かうべき方向は合っているのかを確認して目標を見失わないようにしなければならない。自分に必要な目標を教室で伝え合ってほしい。

### 『毎日欠かさず本を読もう』

本を読んで楽しくなったり悲しくなったり、あこがれを持ったり目指してみたり、ゆっくり立ち止まってみたり勢いよく進んでみたり等々、様々なよい影響を受けながら人生を豊かに送ってほしい。そのために毎日の習慣に読書を位置付けてほしい。

### 『卒業していく6年生の姿からよき伝統をつないでいこう』

残り3か月。6年生は後輩に素晴らしい背中を見せてほしい。在校生たちはより良い学校を目指す準備をしてほしい。



### 〈3学期の主な学校行事 1/10 現在〉

今後変更になることもありますので各学年の通信等でお確かめください。

--	--	--

しょうがんせいよう  
『貞観政要』

～諫言を厭わず～

大津市は独自に加配教員を配置するなど、「いじめ問題」に対していろいろな角度からの取組を強化し、未然防止に努めています。もちろん本校も教師のアンテナを張り巡らせるとともに、あらゆる手立てを施して子ども達の意識を高め、安心安全な学級・学校づくりをしています。それでも残念ながら、いじめの疑いやいじめにつながる事案は0にはなりません。先日も保護者の方からご意見をいただきました。内容は「休み時間等にもいっそう気を配り、子ども達の様子を見守ることができる体制を整えられないか」というものでした。今回いただいたご意見は、これまでの取組を一層強化すると共に、新たな視点も加えて体制を整えるきっかけになりました。年末に原案づくりをして、3学期が始まるまでに職員全体で共通理解・共通実践していけるよう会議の場ももちました。

これは、保護者の方からのまっすぐな声で学校現場があらためて立ち止まって考え、よりよく、そしてより深い指導につなげることができた例です。多様な価値観を持ち、日に日に未知の時代へ進歩していく今の世の中であって、決して学校が絶対というわけではありません。むしろ、長い学校教育の歴史の中であたりまえ(当然)に続いてきたことが変化や進歩を邪魔していることもあるかもしれません。今回のように立ち止まってあらためて進むべき道を見直せるきっかけをつくっていただけることは子どもたちにとっても大変良いことです。

古来から帝王学の教科書とされてきた「貞観政要」という書には、唐の第2代皇帝であった「太宗」の政治に関する言行が記されています。乱の多い時代であって、太平の世をつくりあげ治まった時代をもたらした政治の在り方が語られているものです。この太宗が優れていたのは、喜んで周囲の意見を受け入れ、積極的に最善の政治を心がけようと努力したところだといわれています。

全ての子どもたちをよりよく育てる理念を持つ学校教育も同様。教育目標実現ためには内にいるものが自らの考えや指導を顧みず自己満足しているのではなく、保護者や地域の方々を始めとする皆さんの声に耳を傾けて立ち止まり熟考することが必要だと考えます。是非とも本校が目指す方向が正しいかどうか立ち止まって考えられるよう多くの声をお聞かせください。



【お知らせ】 令和4年度卒業式について

令和5年1月6日付の市教委通知に基づいて、ブロックの幼稚園・中学校とも連携して内容等を検討し、以下の予定で進めます。新たに通知があった場合には再度連絡させていただきます。尚、正式には後日改めて案内を出させていただきます。ご理解ご協力をお願いします。

〈参加者について〉

- ①卒業生、保護者（学校園の規模によっては最小限の参加人数）、来賓、教職員で行うことを基本とする。
- ②在校生の参加については、感染対策を講じた上で、学校園の規模等の実情に応じて校園長の判断とする。
- ③来賓の招待については、市議会議員、学校園運営協議会会長・学校園協力者会議からの代表者、PTA会長・保護者会会長、教育委員会とする。自治連合会会長等、その他の来賓の招待については、学校園の規模等の実情に応じて校園長の判断とする。

〈実施形式等について〉

- ①感染対策の措置（マスク着用、換気等）を講じる。
- ②式典内容の簡素化・時間短縮を図る。
- ③式の練習、予行等は、必要最小限とする。
- ④式歌の斉唱にあたっては、授業での扱いに則る。
- ⑤式後、保護者の教室・保育室における参観等は、学校規模等の実情に応じて校園長の判断とする。

〈12月の様子〉

今年で2年目となる『坂リンピック』。標準記録を突破した精鋭たちが練習の成果を発揮しました。その勇姿を温かく応援する周囲の子ども達の笑顔がまた素敵です。



今年も『ふるさと大掃除』にたくさんの子ども達が参加してくれました。始まる前は、小雨とは言え冷たい雨が降っていてくじけそうになっていましたが、いざ始まると笑顔で落ち葉を集める姿に…。終わる頃には「もっとやりたい」の声。楽しさはやってみて初めてわかるんですね。